

2020年2月14日

クラレトレーディング株式会社

2019年12月期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 研三
問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 三宅 富士夫
: (TEL) (06) 7635-1624

1. 当期の連結業績 (2019年1月1日～2019年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

	当 期 (2019年1月～2019年12月)		前 期 (2018年1月～2018年12月)		増 減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	130,911	-	138,848	-	△7,937	△5.7%
営業利益	4,224	3.2%	4,215	3.0%	9	0.2%
経常利益	4,364	3.3%	4,401	3.2%	△37	△0.9%
当期純利益	3,011	2.3%	2,972	2.1%	38	1.3%

(注) 当社の連結子会社は、可樂麗貿易 (上海) 有限公司の1社となっています。

(2) 単体経営成績

	当 期 (2019年1月～2019年12月)		前 期 (2018年1月～2018年12月)		増 減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	129,324	-	137,583	-	△8,259	△6.0%
営業利益	3,829	3.0%	3,775	2.7%	53	1.4%
経常利益	4,084	3.2%	4,059	3.0%	25	0.6%
当期純利益	2,836	2.2%	2,753	2.0%	82	3.0%

2. 当期の連結経営成績に関する定性的情報

当社は、クラレグループの中期経営計画『PROUD 2020』における当社の戦略である「アジアでの業容拡大」「繊維事業の収益拡大」を積極的に推進しています。

当会計年度（2019年1月1日～2019年12月31日）は、当社が注力するアジア市場において、樹脂・化学品・化成品関連が、中国の景気減速の影響を受け、売上が大きく減少しました。一方、繊維関連は縫製品事業等の拡大が利益面で貢献しました。

この結果、当会計年度の経営成績は、売上高は130,911百万円（前期比7,937百万円、5.7%の減収）、営業利益は4,224百万円（同9百万円、0.2%の増益）、経常利益は4,364百万円（同37百万円、0.9%の減益）、当期純利益は3,011百万円（同38百万円、1.3%の増益）となりました。

以下< >の中の名称は(株)クラレの商標です。

(1) 営業の概況

【繊維関連】 (減収、増益)

売上高は45,392百万円（前期比369百万円減、0.8%減）、営業利益は1,809百万円（同96百万円増、5.6%増）となりました。

(衣料分野)

- 全般的には、原糸や生地販売が市況低迷等の影響を受け利益面で苦戦しましたが、ベトナムでの縫製を中心とした製品販売が拡大し、増収、利益は横ばいとなりました。
- スポーツ分野は、主要取引先との取組み推進により、テキスタイル・縫製品とも順調に推移し、増収となりました。
- ユニフォーム分野は、ワーキングウェアが気候の影響等で販売が低迷した他、企業別注向け及びサービス用途も伸び悩み、減収となりました。
- ファッション分野は、国内婦人衣料及び中東向け生地販売が市況低迷の影響を受け、減収となりました。
- 原糸販売では、海外向けの高機能原糸の販売は拡大しましたが、その他用途が低迷し、全体ではほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、衣料分野は増収、利益は横ばいとなりました。

(資材分野)

- 生活資材は、不織布関連用途は前年並みの販売となりましたが、タオル用途と消費者向け製品販売が拡大しました。
- 産業資材は、中国他アジア向けビニロンを中心に堅調に推移し、増収となりました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、靴資材の市況低迷と競合激化等により、減収となりました。

以上の結果、資材分野は減収、増益となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】 (減収、減益)

売上高は 85,519 百万円（前期比 7,568 百万円減、8.1%減）、営業利益は 2,415 百万円（前期比 86 百万円減、3.4%減）となりました。

- 米中貿易摩擦等による中国の景気減速の影響を大きく受けました。

(2) 2020 年 12 月期の連結業績予想(2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日)

当社の重要市場である中国の景気減速の長期化、およびその他のアジア諸国の経済動向等の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、中期経営計画『PROUD 2020』の最終年度にあたる 2020 年において、当社の戦略である「アジア地域の業容拡大」、「繊維事業の収益拡大」等へ一層注力して参ります。

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期 (累計)	650	22	22	14
通 期	1,350	45	45	30

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上